



健康な白い歯が輝く、
世界中の笑顔のために



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

<http://www.shofu.co.jp>

本社●〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)



この印刷物は環境に配慮し、植物油インキ、
水なしオフセット印刷で制作しています。

SHOFU INC.

「健康で、美しくありたい」世界中の人々の願いを叶えるために

伝統工芸の技を歯科医療に生かす 創業者のベンチャースピリットを受け継いで

松風は大正時代後半の1922年、京都の陶磁器業界で名の知られた三代 松風嘉定によって設立されました。製陶家として伝統工芸の領域にとどまることなく、陶磁器製造の工業化による大量生産や高圧碍子の開発と事業化、そして国産初のセラミックス製の人工歯（陶歯）の開発と、嘉定は時代に先駆けた事業を創造し、その陶歯を製造・開発する企業として松風が誕生したのです。

1922年の創立以来、松風は陶歯のみならず歯科診療や歯科技工、口腔内の予防衛生に用いられる歯科材料・機器にまで事業領域を拡大し、数多くの日本初・世界初の製品を送り出してきました。創業者のベンチャースピリットは今でも受け継がれ、1989年には歯科業界で初めて株式を上場し、その後、2012年には東京証券取引所市場第一部への上場を実現しました。歯科材料・機器の総合メーカーとして常に業界をリードする役割を果たし、国内はもとより広く世界の歯科医療に貢献しています。

「健康」と「美」の入り口である“歯”を守るため 革新的な製品を提供していきます

「歯」は人が豊かな生活を送るうえで必要な、そして喜びでもある“食”の入り口であり、健康の源です。また、人の表情を印象づける口元を白く美しく輝かせる歯は、世界中の誰もが望む健康の象徴です。その願いを叶えるために、創業当初から臨床家や研究者、教育機関と一体となって研究を重ねてきた技術力・開発力を生かし、いつの時代も創造的で革新的な製品を提供してきました。

歯科医療を取り巻く環境や人々のニーズは時代とともに変化を続けています。審美的でかつ身体的にも負担が少なく、長期にわたって人の健康を支えられる歯——松風が追い求めるのは、天然の歯の「美しさ」と「機能」です。この尽きることのない目標に向かって、松風はこれからも新製品開発に邁進し、世界中の人々の「健康」と「美」を実現していきます。

経営理念

創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する

独自技術と明確なコンセプトで 歯科医療を変革する 新製品を開発します

国産初の高級陶歯の開発に始まり、レジン歯や硬質レジン歯、ナノテクノロジーを応用した次世代人工歯の開発と常に業界をリードしてきた松風。その他の歯科材料・機器分野でも歯科医療を変革する新製品を送り出してきました。こうした数々の成果を実現できたのは、業界でも屈指の研究開発投資を継続してきたから。これからも国際的な新製品開発型企業として、広く世界の歯科医療に貢献していきます。



「今までにないもの」を創り出してきた研究開発精神

創業以来の松風の歩みは、「今までにないもの」を創り出してきた歴史とも言えます。現在も日本のスタンダードな人工歯の形態とされる「松風バイオ形態」、審美性の高い光重合型修復材「ライトフィル」、健康保険に適用されている硬質レジン歯「エンデュラ」、形態維持性に優れたペースト性状の充填修復材「ビューティフィル フロー プラス」など、時代の先駆けとなる数多くの製品を開発してきました。

松風の製品群には、創業者のベンチャースピリットをバックボーンとする研究開発精神が息づいています。歯科業界でも最高水準の設備を導入した研究所を中核として、松風はこれからも医学や情報技術・材料技術などさまざまな先端技術領域と歯科関連技術を融合させながら、革新的な新製品・新技術の開発に挑み続けます。

MiCDコンセプトに寄与する新製品を開発

歯科医院に来院される患者さまの多くは、できるだけ自分の歯を削らずに、治療後も美しく、自然に見えることを望んでおられます。歯科医師の先生方がそれに応える治療を臨床で実践していくためには、患者さまの要望を満たす医療技術と、それを支える適切な歯科材料・機器が必要です。

松風では、こうした要求に応えるために、天然歯への侵襲を極力抑えつつ、審美的な効果を導き出す新しい歯科治療のコンセプト「MiCD」の普及をオフィシャルパートナーとして促進しています。MiCDコンセプトに則った新製品・新技術の開発を進めることで、患者さまと歯科医師の先生方との信頼関係の構築に寄与し、安心と満足をもたらす歯科医療を実現していきます。

■MiCDコンセプト

Official partner

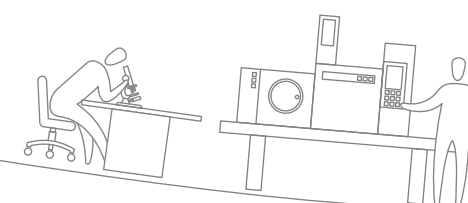
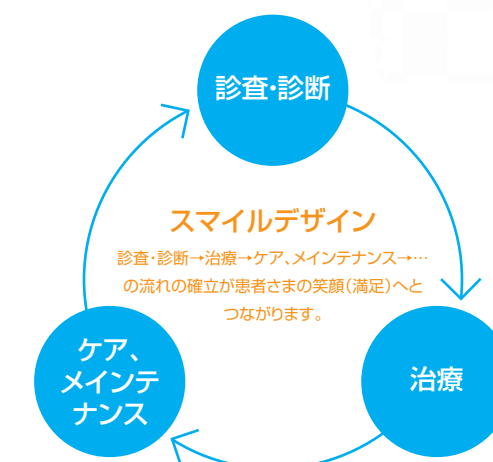


Mi : Minimally Invasive

できるだけ**健全な歯質**を残したい

CD : Cosmetic Dentistry

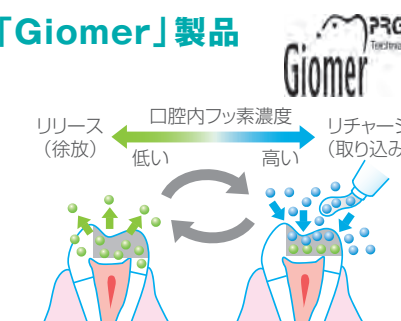
できるだけ**審美的**に仕上げたい



患者さまの笑顔をサポート、口腔内環境の健全化を助ける「Giomer」製品

Giomer(ジャイオマー)とは、フッ素をはじめ口腔内の健康を保ちやすくするといわれる6種類のミネラルイオンを放出する「S-PRGフィラー」を含有させた製品群を指します。フッ素を含むハミガキやジェルによって、口腔内のフッ素濃度が高まるとS-PRGフィラーがフッ素を取り込み、フッ素濃度が低くなると再放出します。これらの製品群はMiCDコンセプトに合致し、口腔内環境の健全化をサポートします。

自分の歯を一日でも長く、1本でも多く保ち続けられるようGiomer製品が患者さまの笑顔づくりに貢献しています。



歯科治療から口腔内の予防衛生まで、 多彩なラインナップでお応えします

松風の製品は歯科医師の方々だけでなく、歯科技工士・歯科衛生士や一般のみなさまに広く使用していただいています。
治療から審美・予防、家庭でのオーラルケアまで、幅広い製品で歯科医療を支えます。

歯科医院に向けて

治療はもちろん、審美・予防・矯正歯科のニーズにも応えて

う蝕（むし歯）部分を取り除く際の研削材、歯の欠損部を埋める充填材や、その接着材など治療に用いられる製品のほか、
予防のために歯科医院で使用するクリーニング機器や材料、歯を白くするホワイトニング材、歯列矯正材料などを開発・販売しています。



一般のみなさまに向けて

セルフケアができる 口腔衛生材料を取りそろえて

ご家庭でむし歯や歯周病を予防するための
歯磨剤や洗口剤をはじめ、
義歯のお手入れのためのケア用品、
口腔内に潤いを与える口腔湿潤食品など、
幅広い口腔衛生材料をラインナップしています。



歯科技工所に向けて

義歯・さし歯などの製作に用いる 材料や機械器具を展開

当社の主力製品分野である義歯（入れ歯）に
用いられる硬質レジン歯（樹脂製）や
さし歯（クラウン）に使用される陶材（セラミックス）・
CAD/CAM関連器材など、
修復物の製作段階で使用される
材料や機械器具を開発・供給しています。





口の中のものだけに、 徹底した品質と安全性の確保を 実現しています

人の歯は、人種や性別による相違はもちろん、生活習慣などさまざまな条件によって色や形態が異なります。そのため、世界中の人々の個性に応じた高品質な製品の提供が歯科材料メーカーの使命。松風は培ってきたノウハウと先進の設備機器による生産、高度な検査によって、品質と安全性の確保に努め、世界中の人々の健康に貢献してきた誇りと責任を持って、その使命を果たし続けています。

各国の医療機器規制に対応した品質管理体制

松風は1997年に、日本の歯科業界でいち早く、EU（欧州連合）の品質基準である医療機器指令（MDD：93/42/EEC）の要求をクリアして「CEマーキング」認証を取得しました。また、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、さらに医療機器の特別要求を盛り込んだ「ISO13485」の高い基準にも適合した品質保証体制を構築しています。

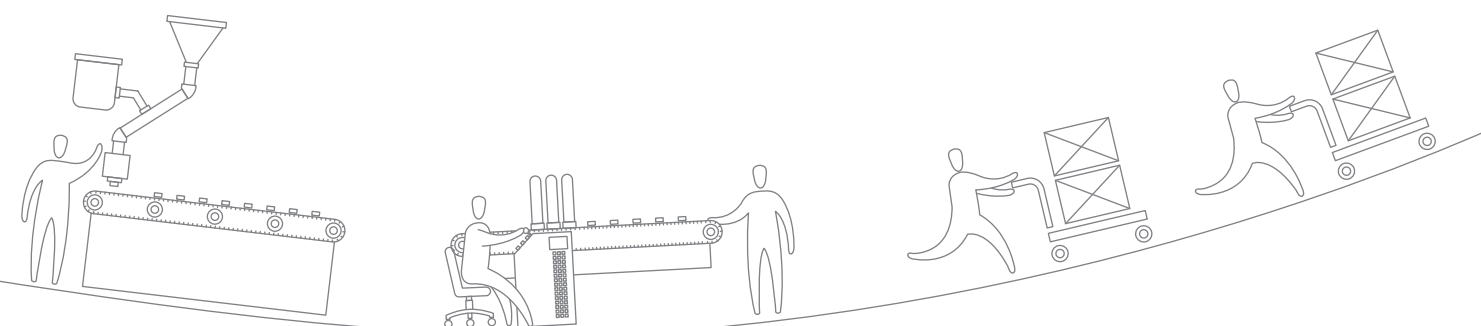
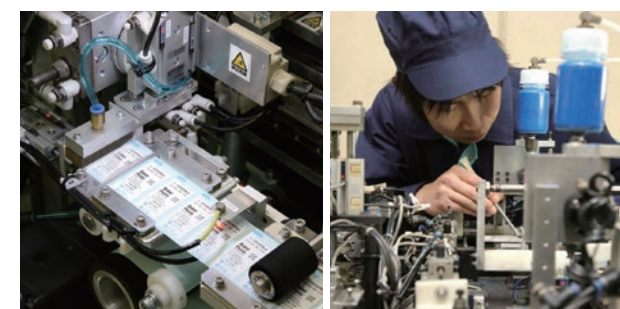
高品質な製品の安定供給を使命と捉え、製品への信頼をより高めるために、品質保証体制及び市販後の安全管理体制の継続的な改善に取り組んでいます。国内薬機法はもとより、世界各地で定められた規格・要求に対応し、世界中に安心・安全な歯科材料・機器を提供しています。



多品種の品質を“工程でつくり込む”生産体制

一人ひとりに応じて使用される歯科材料は、多品種生産が前提となります。確かな品質を備えた多品種の製品をフレキシブルに生産するためには、最新の設備機器を導入するのはもちろんのこと、オペレーションに携わる社員のスキルアップが極めて重要となります。

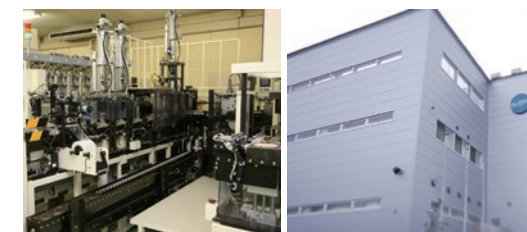
松風は生産設備やシステムの自動化を進める一方で、オペレーターの技能向上に注力し、きめ細かな指導による万全のバックアップ体制を整えるほか、「品質は工程でつくり込む」の考えのもと、日々工程改善に取り組み、品質のさらなる向上を推進しています。



人工歯の生産量は世界トップクラス

グループ会社の滋賀松風は、硬質レジン歯「エンデュラ」や「ベラシアSA」をはじめとするレジン歯の専用最新鋭工場で、年間約3,600万歯を生産しています。レジン歯の国内シェアは約35%を占め、1事業所としては世界トップクラスの人工歯生産量を誇っています。

CEマーキングの認証取得や環境マネジメントシステムを推進し、科学技術庁長官賞や文部科学大臣賞を受賞するなど、品質面・環境面を重視した事業活動を行い、高品質な製品を安定的に供給しています。



●オートメーション化された生産設備でレジン歯を生産

グローバルSHOFUとして、 現地のニーズに即した マーケティングを実践しています

松風が世界へ歩みだした1970年代以降、最高水準の研究開発力から生み出される確かな品質と技術が認められ、今では「SHOFU」は世界の市場に通用するブランドに成長しました。北米・中南米、欧州、アジア・オセアニアを中心とするグローバルネットワークを最大限に生かし、世界中の「英知」と「技術」を結集して、これからも世界の歯科医療に貢献し続けていきます。

世界各国で展示会、学術活動を展開

松風は世界中の歯科医療分野の研究者のさまざまな活動を支援するとともに、大学や研究機関との共同研究や情報交換に活発に取り組んでいます。また、世界各国で開催される主要な展示会に出展するほか、学術大会にも参加するなど、歯科医学の発展に寄与してきました。

国内では4年に1度開催される「ワールドデンタルショー」をはじめとして、各地の展示会に出展し、製品展示のみならず、積極的な情報発信に努めています。

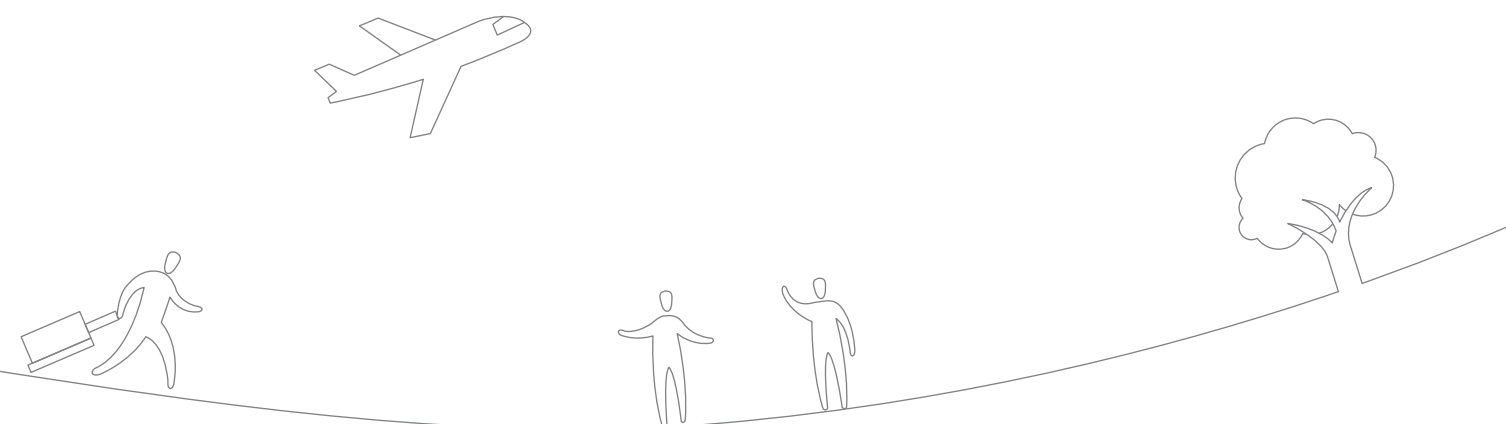
これらの活動によって収集した世界各国の市場ニーズを速やかに研究開発へフィードバックし、顧客ニーズに適応した新製品開発に繋げています。



MiCDコンセプトの世界的な普及を促進

天然歯への侵襲を極力抑えつつ、審美的な効果を導き出す歯科治療を患者さまが求めるのは世界共通のことです。松風はMiCDコンセプトの世界的な普及を図るために、世界各国でセミナー活動などを実施しているほか、「Giomer(ジャイオマー)」製品などのMiCDコンセプトに則った歯科医療に寄与する製品を積極的に市場投入しています。

さらに今後は、海外生産拠点との連携などで価格競争力を強化し、MiCDコンセプトをより広く世界市場に浸透させ、松風の存在感を高めていきます。



現地のニーズに合致した製品開発を強化

現在の世界の歯科材料・機器の市場規模は約2兆円と推定されています。松風は、北米・欧州・アジアの三極を中心に事業展開を進め、世界の歯科市場の拡大とともに成長を続けてきました。今後さらなるグローバル展開を加速させるためには、各国の歯科医療レベルやインフラの整備状況などを考慮したうえで、現地ニーズに合致した製品を提供する必要があります。松風では、海外での現地生産をはじめ、世界各地に開設した拠点との連携を強化し、戦略的な製品開発、市場投入を推進しています。



●成長が著しい中国で人工歯・研削材を現地生産

実習主体の講習会を開催

松風は、国内外の拠点で日常的に大学や研究機関・医療機関とコミュニケーションを図り、学術情報、技術情報を収集するとともに、対外的に開かれた技術普及活動として、各種のセミナーや講習会を全国各地で開催しています。少人数の実習に重点をおいた講習会は40年以上の歴史があり、臨床に役立つ講座として多くのみなさまに受講いただいています。

また、京都・東山の景観と調和した研修センターには、最新鋭の設備を備えた「診療研修室」「技工研修室」のほか、各種会議や研修に使用できる大会議室を設置。さらに全国の営業拠点にも研修施設を完備し、製品情報を発信するとともに、最新の歯科医療や歯科技工、予防衛生に関する講習会も開催し、歯科医療の発展に貢献しています。



歯科医療従事者との交流の場「松風歯科クラブ」

歯科医師、歯科技工士や歯科衛生士のみなさま、ディーラーのみなさまとの結びつきを緊密にし、情報の速やかな相互伝達を促進する場として、松風は1976年から「松風歯科クラブ」を運営しています。同クラブはデンティストサークルとテクニシャンサークルの2部門で構成され、会員を対象とした「臨床講座」を全国各地で開催するほか、臨床に役立つ新製品や情報誌「ha・ha・ha」の提供、学術シリーズ「カラーアトラス」や機関誌「デンタルエコー」の発行、専用サイトでの情報発信などを通じて、歯科医療従事者のみなさまをサポートし、歯科医療のレベルアップに貢献しています。臨床講座は、歯科理論と臨床の専門分野に造詣の深い先生を講師に招き、年15回程度開催しています。

松風歯科クラブは、温かなふれあいや情報交換を通じた交流の場として、歯科医療の発展に寄与しています。



出版活動で歯科医療情報を発信

松風は出版活動にも取り組み、数々の書籍を発刊しています。名医の活動紹介、MiCDコンセプトの推奨、症例に応じた審美修復材料の提案など、臨床に役立つ歯科医療情報の発信に努めています。「松風歯科クラブ」の会員のみなさまをはじめ、多くの歯科医療関係者にご愛読いただいています。

このほか、歯科医院の先生方はもちろん、患者さまにもわかりやすくご理解いただける歯科医療に関するソフトウェアや、歯科技工に関するテクニックをまとめた映像(DVD)も提供しています。



●出版活動による情報発信で歯科医療関係者をサポート

歯科事業で培った技術を生かし、他分野にも展開しています

材料技術と生体親和性が生かせるネイルケア市場へ

指先を美しく彩るネイルケアに用いられる「つけ爪」の一種であるスカルプチュアは、人工歯と同種のアクリルレジンを使用しています。どちらも身体に直接つけるものであり、生体親和性という面で高い安全性が求められます。その点から、ネイルケアは松風が歯科材料で培ってきた技術を生かせる分野です。

グループ会社のネイルラボは、日本のネイル産業が黎明期にあった1988年に設立されて以来、国内でのネイルケアの普及に努めるとともに、ネイリストの育成にも貢献してきました。創業時からネイル業界で培ってきた強力な人的ネットワークを有しており、業界の情報に精通している点からも高い信頼を得ています。

松風が有する研究開発力・生産技術力と、ネイルラボが有するネットワーク・ブランド力の連携を強化し、「美」を追い求める人々の美しい指先づくりに貢献してまいります。



歯科用研磨材の生産技術を生かして工業用研磨材市場へ

金型や機械部品の加工時に用いられ、コーナー仕上げやバリ取り、面取りに抜群の威力を発揮するゴム砥石は、歯科用研磨材にも使用される弾性ラバーにセラミック砥粒を配合したものです。工業用研磨材は、金属、セラミックス、ガラス、石材など、幅広い対象物の仕上げ研磨に使用できるため、さまざまな産業分野で活躍しています。工業用研磨材市場でも、松風が歯科事業で培ってきた高度な研削・研磨の保有技術が生かされています。

グループ会社の松風プロダクツ京都は2015年に「ISO13485」を認証取得し、卓越したノウハウを発揮して、高品質の製品を提供しています。顧客のニーズに応えるため、松風の研究開発部門や生産技術部門との連携を強化しながら、新製品の開発に努めています。





ステークホルダーとの 対話を大切にし、 企業価値を高めています

松風は世界中の人々が笑顔あふれる持続可能な社会の実現を目指しています。

歯科医療という公共性の高い分野で事業展開していることから、企業の社会的責任を強く認識し、コンプライアンス重視の経営や社会貢献活動などに取り組むことで、企業価値の向上に努めています。

社会から信頼される企業を目指して

日本の歯科業界で初めて株式を公開した松風は、早くから企業の社会的責任を重要な経営課題の一つに掲げてきました。

松風では、松風グループの役員・従業員の一人ひとりが法令や社会規範を順守し、共通の倫理的な価値観のもとで事業に取り組むべく「松風グループ行動規範」を制定しています。この規範では、ステークホルダーに対する責任を明らかにするとともに、役員・従業員が取るべき行動について明示しています。また同時に、製品の安全性の確保や説明責任の遂行はもちろんのこと、事業活動全般において順守すべき基本的な事項を明確化し、これをもとに日々の事業活動に取り組んでいます。



お客さまとのかかわり

双方向コミュニケーションで歯科医療の発展に貢献

1976年に「松風歯科クラブ」を発足させ、歯科医療関係者のみなさまとの情報交換を緊密にすることで、歯科医療のレベルアップに貢献しています。

このほか、歯科技工士や歯科衛生士を目指す学生のみなさんなどを対象に、工場見学を実施。また、本社研修センターをはじめ、全国各地で定期的に研修会、講演会を開催して、松風製品の正しい使用方法をご理解いただくとともに、歯科医療の最新の技術情報を提供しています。こうしたコミュニケーションは、お客さまから臨床現場の情報を得る好機ともなっています。

●研修会



株主・投資家とのかかわり

情報提供とコミュニケーションを積極化

松風は株式上場企業として株主のみなさまへの利益還元を重視し、安定配当の継続と株主優待制度の充実に努めています。また、適時・適正な情報開示に努め、決算説明会、会社説明会、IRフェアなど、さまざまなIRイベントを通して、投資家のみなさまに業績や経営戦略を説明するなど、積極的にコミュニケーションを図っています。

これらに加えて、ホームページのIR情報サイトや報告書など、情報発信ツールを充実させ、より見やすく、わかりやすい情報提供を行っています。

●IRフェア



Sustainability

社会の持続可能性

環境への取り組み

環境配慮型製品を開発

人々の健康に貢献するメーカーとして、松風は地球環境との調和を図るため、開発から生産、販売に至るすべての事業活動で環境保全活動を推進しています。なかでも、製造工程におけるCO₂排出量や製品使用時の廃棄物の削減など、環境に配慮した製品開発に積極的に取り組んでいます。人工歯パッケージでは、従来一般的であったロウ板から、ワックスフリーでプラスチックの使用量を減らした環境にやさしい包装容器(キュービックパック)を開発したことで、廃棄物の削減や使用後の分別廃棄を容易にしました。また、プラスチックから紙製への包装材の変更や、折りたたみ廃棄が可能な容器の採用などにより、環境負荷低減を図っています。

●従来の人工歯ロウ板(上段)とキュービックパック(下段)



●折りたたみ廃棄が可能なパッカブルタイプの容器



従業員とのかかわり

安全で働きがいのある職場環境づくり

誰もがいきいきと働ける職場づくりは、企業としての責務です。松風は公平で透明性の高い人事制度を目指し、労使で築いた人事考課制度を導入して、一人ひとりの意欲を喚起しています。また、従業員の能力・意欲を高めるべく、多彩な教育制度を用意するなど、人材育成にも力を注いでいます。

さらに、安全衛生巡視や産業医による面談指導、メンタルヘルスなどの研修会を実施するほか、毎週金曜日を「ノー残業デー」に設定するなど、従業員の安全と健康の確保やワークライフバランスの推進にも努めています。



社会とのかかわり

歯の知育サイト「はいく」を公開

松風は、親子で楽しみながら歯に関する知識を深めていただくことを目的に、歯の知育サイト「はいく」を開設しています。最大の特長は、歯に関するデジタル絵本を無料で公開している点で、絵本を読んだ子どもたちが「歯の大切さ」を理解できるようなストーリーにしています。

このほか、「歯のきょうしつ」というコンテンツでは、むし歯の予防やむし歯治療のトレンドなどをテーマに写真やイラストなどを用いて、わかりやすく紹介し、親子で歯科治療・予防を学んでいただく機会を提供しています。

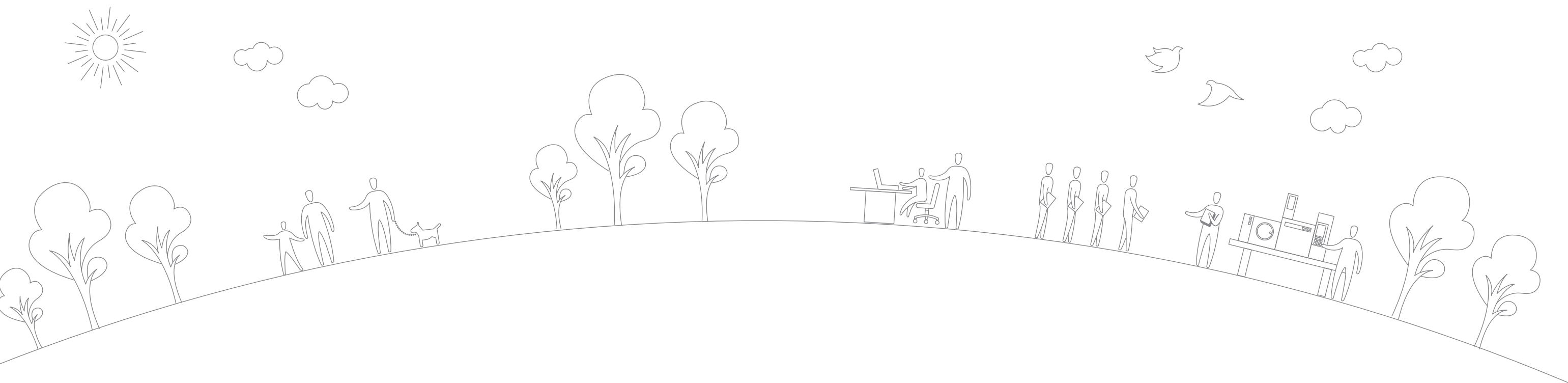
●「はいく」サイト



地域社会とのつながりを重視

京都市東山区の保育園で歯をテーマにした絵本の読み聞かせとブラッシング指導を実施しています。子どもたちに歯科治療や予防を身近に感じていただけるよう、歯の大切さや歯磨きの重要性を伝えています。また、一般の学生などを対象に工場見学を実施し、歯科医院と歯科技工所、患者さまと松風との関係や、高度な品質管理、環境への取り組みなどの説明とともに、製造工程も見学していただいています。

その他、献血活動や近隣の清掃活動などを通じて、地域社会との調和を図っています。



創立100周年に向けて、 企業基盤を強化し 社会的責任を果たしてまいります

代表取締役社長
社長執行役員

根来 紀行

当社は、1922年の創業以来、たゆまぬ研究開発を続け、数々の「日本初」「世界初」の製品を送り出し、歯科材料・機器を革新してきました。国内はもとより海外にも販売網を広げ、優れた製品をワールドワイドに提供して歯科医療の進歩とともに歩んできました。これらの活動が実を結び、2012年3月に東京証券取引所市場第一部への上場を果たしました。そして2012年5月に創立90周年を迎え、100周年に向けて企業の社会的責任を果たすため、コンプライアンス（法令順守）体制の確立、アカウンタビリティ（ステークホルダーへの説明責任）の充実に取り組み、経営基盤の強化を図っています。

現在、わが国は、人口の減少と高齢化という社会構造の大きな転換期を迎えています。豊かな健康長寿社会を築くには、人が生きていくうえで欠かせない「食」の入り口である歯の健康がますます重視されていくでしょう。また最近の研究では、歯科疾患が全身の健康に影響を及ぼすことが知られてきており、歯科医療が果たす役割はさらに重要性を増しています。

このような環境下にあって、松風は業界をリードする総合的な競争力をさらに高め、信頼の「SHOFU」ブランドの製品を通して歯科医療に貢献していきたいと考えています。健康な白い歯が輝く世界中の笑顔のために——全社員が一致協力し、創業者精神に則って日々努力と挑戦を重ねていきます。

健康な白い歯が輝く、 世界中の笑顔を見たいから



「健康」と「美」を求めるのは、いつの時代も、どここの国でも変わらぬ人々の願いです。松風は歯科材料・機器の総合メーカーとして、また国際的な新製品開発型企業として優れた製品を世界中に提供し、健康な白い歯が輝く笑顔をサポートしていきます。

主要財務データ(連結)						
		第145期(2017.3)	第146期(2018.3)	第147期(2019.3)	第148期(2020.3)	第149期(2021.3)
売上高	(百万円)	22,305	24,031	24,915	26,108	24,680
営業利益	(百万円)	1,382	1,497	1,814	2,210	2,300
経常利益	(百万円)	1,141	1,565	1,709	1,988	2,523
当期純利益	(百万円)	836	877	1,201	704	1,674
純資産額	(百万円)	22,296	24,157	24,383	23,936	30,198
総資産額	(百万円)	28,853	31,357	30,161	29,834	37,813
1株当たり純資産額	(円)	1,396.74	1,511.85	1,524.92	1,491.81	1,690.45
1株当たり当期純利益	(円)	52.61	55.20	75.54	44.24	96.29
自己資本比率	(%)	76.9	76.7	80.4	79.7	79.4
自己資本当期純利益率	(%)	3.8	3.8	5.0	2.9	6.2
配当性向	(%)	38.0	36.2	30.4	58.8	30.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,308	1,936	1,468	1,942	2,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△1,052	△722	△1,519	△1,768	△4,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△835	△592	△844	△224	3,023
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,652	5,268	4,318	4,218	6,305

